



淑楓祭を彩る模擬店



後夜祭恒例のパレンドロップ



はっぴー広場でのパフォーマンス



正面前の巨大布絵

最高の盛り上がり魅せた淑楓祭

長久手キャンパス

今年の淑楓祭の目玉企画は、「巨大迷路」。テーマの「TOY BOX」を意識して、子どもからお年寄りまで楽しむことができる企画となりました。他にも、大学構内を彩る装飾物もおもちゃ箱を連想させるようなデザインのもので盛りだくさん。なかでも、構内に入った瞬間に見える10m×16mの巨大布絵や、影絵のような壁装飾、ミニメント装飾などは圧巻でした。

ステージでは、女装コンテストやDQNの登場など、毎年恒例の企画ながらも、テーマを意識し一体感のある企画ばかりでした。ライブでは、スペシャルゲストのFLOWに加え友情出演してくださったHOMEMADE 家族を迎え、体育館は一瞬で熱狂の渦に巻き込まれました。

また、愛知県内外を問わず人気を誇っているインディーズバンドを呼んでの無料ライブハウス企画「music stage」では両日あわせて20000人を超える来場者を記録しました。

淑楓祭の最後を飾る後夜祭では、お笑いゲストの流れ星を迎え、毎年恒例となったパレンドロップなどの企画により、最高のフィナーレを演出することができました。

大学祭実施のための準備として、地下鉄本郷駅でのバス乗車マナー向上についてのピラ配りや地域の清掃活動、また近隣の方々への挨拶回りなどを行いました。地域の皆様に愛される淑楓祭に成長していることを実感しています。

この結果、第37回淑楓祭は2日間で18517人も来場者数を記録し、大成功で終えることができました。第37回淑楓祭を創り上げることに協力して頂いた関係者の方々、地域の皆様、団体様、お客様に対して実行委員一同心から感謝申し上げます。



来場者でにぎわうキャンパス

REPORT

レポート

12

大学

第37回淑楓祭

11/3(土)・4(日)

長久手キャンパス・星が丘キャンパス 合同テーマ「TOY BOX」

※両キャンパスの大学祭実行委員長による淑楓祭のレポートです

星が丘キャンパス

感謝!!

近年天候に恵まれなかった淑楓祭ですが、今年度は11月3日・4日ともに晴天に恵まれ第37回淑楓祭を開催することができました。テーマである「TOY BOX」にちなんだ巨大な兵隊のオブジェが学内の入り口でお客様をお迎えしました。学内に入ると、ゼミやサークルの日ごろの成果を発表する教室企画があり、お客様的好奇心を誘いました。一般の方も参加するフリーマーケット会場には、昨年度にまして多くのお客様に来ていただき、講堂では愛知県出身の「佐野岳」さんに、野外特設ステージは名古屋発アイドルグループ「BOYS AND MEN」「笑い飯」をはじめとするとお笑い芸人によって盛り上がりました。また、毎年好評のお化け屋敷では、過去最高の来場者数を記録し、今年度新たに新設した宝探しでも年齢問わず楽しんでいただくことができました。子供広場では、規模を拡大し、テーマパークのような空間をつくり来場者数も昨年を上回りました。



観客を魅了するチアリーディング部

今年度は、それぞれの企画をさらに質の高いものにするので、お客様に大いに楽しんでいただき、大成功を収めることができました。

日頃からご理解とご協力いただき、近隣住民の皆様へ感謝の気持ちを伝えようと、毎月1回の清掃活動や挨拶回りを行い、他にも地域の小学校や児童館において、子ども達と一緒に清掃活動などを積極的に行った交流活動を毎年継続していることもあり、無事に終わることができ、また大勢の方に来場いただきました。

改めて、地域の方々のご支援があつた淑楓祭だと強く感じました。最後にになりましたが、第37回淑楓祭に関わってくださった全ての方に、大学祭実行委員一同心から感謝申し上げます。



キャンパスを彩る装飾



フィナーレを飾る後夜祭



地域の方々も多数で来場



学生たちの個性が光る模擬店

中学校

沖縄：研修旅行
10/31(水)～11/3(土)



やっと沖縄らしい海です!



元ひめゆり学徒隊の与那覇百子さん



一言も聞き逃しません!



二度と悲劇をくりかえしません

2日目のテーマは「戦争と平和」。元ひめゆり学徒隊の与那覇百子さんの体験談は衝撃的でした。多くの生徒が同年代の少女のあまりに凄惨な体験を自分自身を重ね合わせようと、当たり前の日常に感謝したり、平和への思いをさらに強くしたようです。講演へのお礼として「さとうきび畑」や「島唄」など沖縄の歌を6曲メドレーで合唱しました。講演の後は、数々の悲劇が起きたガマ(壕)の中に入りました。平和ガイドさんの指示で灯りを消すとそこ

3泊4日の中学研修旅行は沖縄の自然や歴史・文化に触れる盛りだくさんのコースです。初日は、「体験学習」の日。沖縄らしい三線や紅型に挑戦したり、シーサーやお菓子作りを楽しみました。が、屋外の体験は寒さに震えながらカヌーやシーカヤックを漕ぎ、雨中のさとうきび刈りとなりました。エメラルドグリーンのはどこにもありません。

戦争と平和について
考える



心をこめて歌いました



それにしてもよく食べました

は全く光のない暗闇の世界。目を凝らしても何も見えません。クラスの研修旅行委員が準備した「平和宣言」を読み上げて与那覇さんたちの思いを受けついでいくことを誓いました。「沖縄の歴史と文化」をめぐる3日目は、首里城やガンガラーの谷、玉泉洞の見学、そして最終日は、世界遺産である中城城の見学と国際通りでの買い物満喫しました。出発直前の予報は4日間すべて雨マークでしたが天候も次第に回復してくれました。思えばよく学び、よく食べ、よく話し、そして本当によく歩いた4日間でした。

CAMPUS
キャンパス

20

4泊5日で北九州を中心にして修学旅行に行ってきました。調べ学習を重ねてきた吉野ヶ里、柳川、阿蘇熊本、雲仙、長崎、九州国立博物館、太宰府の地へ実際に行き、学んだことを深めてきました。吉野ヶ里では歴史の教科書で学んだものの実際の姿を目にし、感動しました。阿蘇では自然の雄大さ(雨と霧で5m先が見えなかったことも含めて)を、雲仙では自然の脅威を学ぶことができました。島原の乱最後の舞台である原城址に自分の足で立ち、壮絶な時代背景に思いを馳せました。長崎では被爆体験者の講話を聞き、「平和とは人の心の痛みを分かること」と学びました。被爆体験を真摯に受け止め、平和な世界を築くために私たちにどんな努力が必要なのか考えさせられました。翌日は1日を使って、長崎の歴史、宗教、文化に触れる別荘研修を行い、五感を使った学びの場となりました。また、非日常での集団行動を通して、時間厳守などのルールの必要性にも気づきがありました。たくさん学んだ学びの場となった修学旅行でした。

九州の
歴史や文化を体感



最初の見学地 吉野ヶ里歴史公園

高等学校

九州修学旅行
10/22(月)～26(金)



太宰府にて



戦争体験を伺った下平さんに花束贈呈



長崎別荘研修(めがね橋)



長崎別荘研修(大浦天主堂)



平和セレモニーで平和への祈りをささげる